

風に心を開いて生きる

私たちは時代の転換期にいます。西洋占星術によると、2020年の終わりごろから時代が変わり始めたそうです。これまでの物質重視の「土の時代」から、精神性重視の「風の時代」になりました。これからは、ますます自由と多様性・変化と流動性が求められます。今年度の講演会では、この大きな時代の転換期に生きることを意識しながら、今までとは異なる切り口で一緒に考えてまいりたいと思います。



デザイン：吉田光志（人間塾第9期生）

なかの よしえ

講師 一般財団法人人間塾 代表理事 **仲野好重**

会場 人間塾 / オンライン

定員 対面25名, オンライン100名

時間 13:30~15:30

受講料 会員10,000円(全3回), 非会員5,000円(1回)

アクセス

- ・JR,東京メトロ四ツ谷駅より徒歩6分
- ・東京メトロ麹町駅5番出口より徒歩2分



千代田区二番町12-13セブネスビル1階

MAP ▼

**第1回** 7/27 日 13:30～

帝国主義的野望のゆくえ

資本と権力、物質的欲望と精神の空虚。その狭間で揺れる現代社会において、「風の時代」を迎えた今、私たちはどのように生きるべきかが問われています。言語学者のノーム・チョムスキーや文学研究者のエドワード・サイードに見られるように「ことば」の力を信じて、帝国主義的野望に陥っている国家（日本を含む）を俯瞰してみたいと思います。

第2回 11/9 日 13:30～

自己超越と精神的重力の拮抗

人間は本能やエゴに従って生きつつも、ときに自分の意志を超えた力に導かれることがあります。それを「ご縁」や「偶然の出会い」と呼びますが、果たして人生において全くの偶然など存在するのでしょうか。1つ1つの経験を線でつなぐと「ご縁のネットワーク」が浮かび上がる気がします。シモーヌ・ヴェイユの思想を通して、人生における苦しみや恩寵の意味を考察します。

第3回 2/1 日 13:30～

「風の時代」を生きる

産業革命に始まる「土の時代」は、物質と資本を重視する社会を築きました。しかし、資本主義の限界が見え、民主主義の破綻を感じる昨今は、「風の時代」と呼ばれる精神性重視の時代にあります。物欲に支配されず、自己の在り方や心の豊かさの希求などが、人生における大切な要素です。講演会最終回では、この新しい時代をどう生きるかを考えます。

お問い合わせ・お申し込みは下記のいずれかでお願いします

FAX 03-6272-6148 **E-mail office@ningenjuku.or.jp**

FAXでお申し込みされる場合は、下記のフォームにご記入の上うえ、切り取らずにそのまま送信してください。

E-mailでお申し込みの方は、お名前、ご住所、お電話番号、会員・非会員をご記入のうえ、お送りください。

フリガナ

名前

携帯番号